

会 議 録

1 会議名

第6回柿崎区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的に審議する事項（公開）

- ・柿崎区保育園にかかる課題と今後について

(2) 協議事項（公開）

- ・頸北地区地域協議会委員合同研修会について
- ・柿崎区地域協議会視察研修について

(3) その他（公開）

3 開催日時

平成29年9月9日（土）午前11時30分から午後0時7分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・委 員：長井洋一（会長）、小出優子（副会長）、薄波清美、片桐充、加藤満、佐藤健、白井一夫、高野武夫、武田正教、新部直彦、榆井隆子、引間孝史、湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄
- ・事 務 局：柿崎区総合事務所 南博幸所長、佐藤誠司次長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、布施和代福祉班長、唐澤幸代地域振興班長、長井英紀主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【佐藤次長】

- ・ 会議（地域協議会）の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

【長井会長】

- ・ 会長挨拶
- ・ 会議録署名委員に楡井委員を指名

【長井会長】

自主的審議事項「柿崎区保育園にかかる課題と今後について」の審議に入る。

午前中に柿崎区の保育園4園とよしかわ保育園の視察をしていただいた。実際を見ておかないとなかなか次に踏み出せないかということで視察をしていただいたが、まだまだ方向が出せる段階ではないと思う。視察をしていただいた感想・意見を述べていただき、今後に結び付けていきたいと思う。

【片桐委員】

初めて保育園を回らせていただき、最後によしかわ保育園を見させていただいたが大変素晴らしく、柿崎の保育園は皆老朽化が進んでいて、何とかしなければならぬと感じた。施設的にはまだまだ使えるとは思ったが、よしかわ保育園を見るとやはり新しい物を造る方向に行った方がよい気がした。

【加藤委員】

各園とも与えられた施設の中で頑張っていると強く感じた。

【佐藤委員】

それぞれ地域に合った格好で園児の確保をしながらやっている。その中でやは

り町内会が重要であって、私たちの上下浜も2町内会で57人の園児を確保している。

日常の活動が地域の活性化になると思うので、即合併ではなく地域に合った保育園を視察させていただいたことをこれからの意見交換とすべきと思う。

【白井委員】

柿崎区の保育園はわりと事務室から全体に目が届かない。よしかわ保育園はよい間取りだと感じた。1つの所から全保育室に目が届くというのは、今後の参考にしてはどうかと感じた。

【小出委員】

環境的なことを言うと、上下浜保育園は初めて入らせていただいたが、園庭に松の木があってよいと感じた。第二保育園はあまり古びた感じがしなく、非常に綺麗に使われていると感じた。第一保育園は園庭に階段が二つ出ているというのは構造的におかしいと思うし、鉄筋コンクリートは子供たちの施設としてはふさわしくないと、年月が経ち木造平屋建ての第二と鉄筋コンクリートの第一を見て感じた。下黒川保育園も適正に管理されていて、木造ということで上下浜も下黒川も古い綺麗に使われていると思った。

そして吉川へ行ったら新しい施設でウッディな感じがして、子供たちを育むにはやはり木というのはすごくよいのだなと感じた。

【高野委員】

私は昭和の終わりころ上下浜保育園に給食を納めさせていただいた。そのころからみると園児数が約半分になっている。他の保育園には初めて入れさせていただいたが、皆さんが考えて保育に従事しておられると感じた。

【武田委員】

どこも築30年、40年と経っているが、建てた時代の行政のお金の関係などで二階建てになったり木造になったり鉄筋になったり、年代に差がなくいてもそういう差が出ているが、今一番良い物を見るとやはり違うと感じた。そういうよ

い所で育っている子供たちは幸せだと思った。自分達の孫やひ孫が行く時にどうやってあげたらよいのかを皆で考えた方がよい気がした。

【楡井委員】

それぞれの保育園に特徴があって興味深かった。それぞれの施設で先生方が工夫されて保育されている様子がよく分かった。保育園はある程度地域に密着した形で小規模なものでよいと思っていたが、現実を見てみると未満児が非常に多くなっている中で、沐浴室や調理の設備が必要になり、現実的にそれらを全部揃えるのは改修が必要になってきている現状をみると大変だと感じた。第一保育園は二階の外階段が使えないとか、大掛かりな改修が必要な所が実際にあることが分かった。これから色々と検討の余地があると感じた。

【引間委員】

いずれの保育園もかなり老朽化が進んでいることと、園庭がそれぞれ充実していることに気がついた。特に上下浜保育園の園庭については感動すらした。

【湯本委員】

それぞれの立地条件でその場所に合った造り方があったと思うが、どの園もそれなりに工夫された設計だと感じられた。また、同じ区内でも園の施設によって差があるのはどうかと感じた。最後によしかわ保育園をみると、やはり新しい物には勝てないという気がした。

【吉井委員】

よしかわ保育園が新しくて使い易くてよいというのは、昨年できたので当たり前だと思う。今我々が議論することは、新しい事はよい事だということではなく、保育園の在るべき姿はどういうことかを議論しなくてはならず、将来造るならよしかわ保育園より更に上の物を造らなければならないと思った。よしかわ保育園はよいが外で遊ぶ場所がない。去年造った保育園がなぜ外で遊ぶ場所がないのか。私はそれが一番疑問に感じた。

それから、よしかわ保育園の園児の数が82人だ。柿崎は4保育園を集めると

220人となる。100人足らずの園児の数と200人を超える数を比較すると、統一するというのは園児の数からみても柿崎ではまだまだ議論が先ではないかと感じた。

柿崎の4つの保育園は建設してから、30年から40年くらい経っている。そのわりに各保育園でしっかりと維持メンテナンスができていて、後付けかもしれないが冷暖房装置も完備されているし、まだまだ使用していけると感じた。ただ、上下浜保育園については北側の窓も一重サッシであり、隙間風も入ってくるし、廊下は少し歪んでいて修復が必要な状況になっているので、我々は上下浜の方々がどう思っているのかもヒアリングをしながら、上下浜保育園をどうしなければならないかを議論しなければならないと感じた。4、50年経っている上下浜保育園とよしかわ保育園を比べて議論するのは間違っている。上下浜保育園は遊びの面でもよいところがあるし、保護者の方も立地条件のよい所で子供を遊ばせて、はつらつと育てられるのは非常によいのではないかと感じた。

私は下黒川の人間なので特に下黒川保育園をよく見たが、すぐ前に遊ぶ場所もあり、唯一運動会もその庭でできるというのは非常によい条件だと感じた。

【渡邊委員】

遠くない将来は子供が減少して行き、やがて保育園をどうするかは目に見えた問題である。保育園をどこに建てるか、やはり環境だ。園の建物の外に全く子供の遊び場がないというような所は選ばない方がよいと思う。園児の数と建てる場所や構造などをいろいろと吟味して、環境のよい所に建てて欲しいと思う。

【薄波委員】

保育園は子供のためだけのものではなく、親や家族のためのものであると思う。早朝保育とか延長保育を利用する人の割合も増えてきて、仕事に行く前に保育園に子供を預けてから行くという親が多くなってきていると思う。仕事は柿崎では大きく分けて上越方面と柏崎方面になると思うが、仕事に行きやすい所に保育園を建てていただくと通わせやすいと思うが、逆方向だと時間のロスになり、働く親やお爺ちゃん、お婆ちゃんにとって不利益になる。そういうことも考慮して保育園を考えて欲しいと思う。

【長井会長】

一通り感想をお聞きした。今日この場でこれからどうするかと言う話は無理かと思う。地域協議会の中で保育園の在り方について検討が始まっているということ、そして地域の声を皆さんから聴くことも大切なので、どういうものが良いかを地域の皆さんからの声を集めながら協議をしていきたいと思う。

今日の皆さんのご意見、感想等も踏まえながら、柿崎区の重要な課題の一つとして次回からの自主審議事項として取り挙げていきたいと思う。

本件に関してはこれで終わりとする。

【長井会長】

次に、協議事項（１）「頸北地区地域協議会委員合同研修会について」に入る。

日程は９月２９日午後２時から、コミプラを使い分科会と全体会、そして講演会を行う。講師は福島大学人間発達文化学類の牧田実先生にお願いしてある。当日３名の委員の方々が欠席予定だが、３つの分科会に分かれて参加していただく。希望があればそれに沿って割り振りしたい。

- ・各委員に希望を確認し、３つの分科会に割り振りした。

以上で、（１）の協議事項を終了する。

続いて、協議事項の（２）「柿崎区地域協議会視察研修について」に入る。

案として２つ作成した。１つは富山県の射水市、もう１つは十日町市である。メインテーマとしては空き家活用と定住人口増加策である。今日決めて頂かないと手配がつかないので、時間のない中申し訳ないが資料を参考に検討いただきたい。交通の便で言えば、富山射水市までは約２時間、十日町市だと１時間で時間的には楽かと思う。実施日については受け入れ側の都合もあるのではっきりと決められないが、１１月８日・９日・１０日のあたりで日帰りです定したい。できればこの２つの中から選んでいただければ手配も可能と思われる。詳細は資料をご覧ください。富山の方は今どんどんと人口が増えているし、十日町は中山間地で新たに定住人口を増やして町おこしを行う提案である。

この2つでどちらかに決めてよいか。

【各委員】

- ・「はい」の声

【長井会長】

では、皆さんの挙手により決めたい。

- ・挙手の結果同数となり、議長議決により「富山県射水市」に決定する。

日程に関しては受け入れ先と連絡を取り、先程の11月の3日間の中で決め、早急に計画を作成し皆さんに案内書を配付したい。

【長井会長】

以上で協議事項を終了しその他事項に入る。

- ・次回、第7回柿崎区地域協議会の開催日について

日 時：平成29年10月12日（木） 午後6時30分～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

- ・第7回の地域協議会で、地域の皆さんとの懇談会のまとめを報告していただきたいので、それまでに実行委員会を開催しまとめておいてほしい。
- ・次年度の地域活動支援事業の採択方針等の内容に関して、検討委員会で進めていただき11月の地域協議会で報告していただきたい。

【長井会長】

- ・閉会を宣言

(午後0時 7分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。